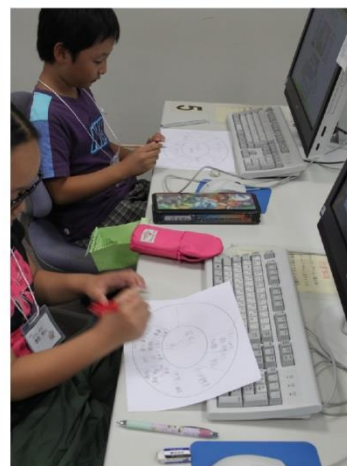
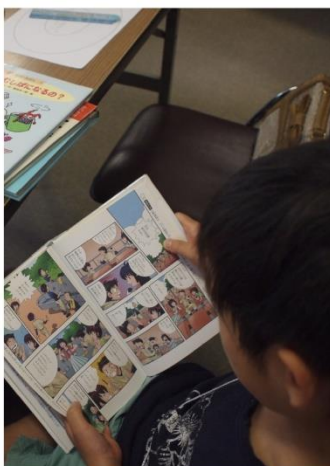


図書館ひろば



市立図書館・相武台分館・橋本図書館にて 「調べ学習講座」開催



調べ学習講座 報告

【7月16日（土）市立図書館

～新聞をつくろう～】

小学3年生から中学1年生まで 11名参加

最初に講師から、新聞の構成について話を聞きます。書いてある記事を目立たせるために大事な見出しのつけ方、何を伝えたいのかを簡潔にまとめることなどを学びました。またこの日、神奈川新聞のかたが取材に来られていたので、記者の目線からのお話も聞くことができました。

新聞作成のことを把握した後は、自分たちが調べるテーマを児童コーナーの本を見ながら探します。迷いながらも、「飛行機」「メジャーリーグ」「金魚」「舌のしくみ」などテーマが決まっていきました。思い描く資料が見つけれなくて、調べのお手伝いをするサポーターと相談しながら、テーマを今一度考え直す子どももいました。本を借りた子どもたちは、新聞記事にしたいことがらが載っている箇所、付箋を貼っていきました。調べたことをどんどん書き出し、それを新聞の形にまとめました。台紙に直接書き込むのではなく、小さな紙に項目ごとに書きだし、それを上手に配置していきます。コピーした図や写真を工夫しながら載せたり、色ペンを使って読みやすくしたり、すばらしい作品が出来上がりました。

【7月31日（日）相武台分館

～図書館で好きなことを調べてみよう～】

小学2年生から中学1年生まで 8名参加

はじめに講師から、調べ方の流れやコツを教わります。テーマを決めて、調べることがらを絞っていき、方向性が決まったら、本棚に本を探しに行きます。テーマは決まったものの、そこから先に進まない子どもも、実際

に本を見ることで、イメージがはっきりします。サポーターと一緒に探し出した本を読みながら、「ここが大事！」と思うところに付箋をはっていきました。その後調べたことをどんどん書き出し、それを冊子や巻物にまとめていきました。

【8月7日（日）橋本図書館

～ネットと本で調べ学習講座～】

小学3年生から中学2年生まで、16名参加

調べるテーマを決めて、ドーナツチャートでさらに絞り込みます。今回、多くの子どもたちが、あらかじめテーマを決めてきていて、図書館の児童コーナーで、目的の資料を手早く見つけていたのが印象的でした。子どもたちが調べたテーマは、「天然ガス」「家畜」「ピアノ」「歴史上の人物の家紋」「海の色や味」「きのこ」「ゴミ」など。最新のデータが欲しい時には、ネットも利用します。信頼性の高いウェブサイトを参考にするように、講師やサポーターが声掛けをしました。3時間はあっという間で、「もっと深く調べたい」「こんな風にまとめたい」という理想の形を追って、完成までに至らない子どももいました。

すべての調べ学習講座で、出来上がった作品には、参加者、お迎えに来られた保護者の方に感想を付箋に書いて、貼っていただきました。参加して下さったみなさま、ご協力くださった図書館職員、サポーターのみなさま、ありがとうございました。

各館のようすは、つなぐ会のホームページにアップされています。ご覧ください。



【講師の感想】

今回は相武台分館での講座が新たに加わり、どうなることかと少々心配しましたが、参加人数も部屋の大きさに対してちょうどよく、和気あいあいと進めることができました。

3つの会場では、相武台分館の自由な形。市立図書館の新聞形式にまとめる形、橋本図書館のネットも使った形と、それぞれ特徴がありました。どの講座も、参加した子どもたちがとても楽しそうにしていたのが、印象的でした。

市立図書館では、新聞形式の見出しに工夫を凝らしていたり、橋本図書館では、はじめからしっかり目標をもって取り組んだので深い内容になって、かえって仕上げるところまでできなかつたりしました。また、相武台分館は、分館ということもあり地域に非常に密着している館で、こどもたちがとても身近に感じていて、気軽にのぞき込んでいく姿が見られました。

今年も、講座が無事終了してホッとしています。年ごとにこの講座が各図書館で定着していき、「図書館と市民をつなぐ」という会の名前に少しは貢献できるといいのだが、と思っているところです。

【市立図書館サポーターの感想】

普段は市内の小学校の図書整理員として調べ学習の資料レファレンスはしていますが、テーマを決めて調べ、内容を作品としてまとめるサポートをするのは初体験でした。

始めのうちはイメージがまとまらず、なかなか作業が進まない子にどうサポートすれば良いか、時間内に出来上がるのか、ハラハラすることもありましたが、最後には全員、たくさんの感想が貼られた自分の作品を嬉しそうに持ち帰ってくれたので、私も嬉しかったです。

【橋本図書館サポーターの感想】

今回、初めて調べ学習講座に参加させて頂きました。参加した子どもたちは、調べたいテーマが決まると次々に本を選び、その自主性と積極性に驚きました。完成後、感想の付箋を見た嬉しそうな表情も印象的でした。

子どもたちにとって今回の経験は、大変なことも挑戦することで達成感や充実感を感じ、自信が持てる素晴らしい機会だと思いました。また、本の使い方を知ること、学校の図書館の利用につながるとういなどと思いました。



2016年11月27日（日）
相模原市立図書館にて
「図書館ひろば」が開催されます

大集会室では「古本市」を開催します。
新しいイベントをたくさん企画しています。

お楽しみに！

いま、YAサービスが熱い！

相模大野図書館・橋本図書館

中高生を対象にした図書館サービス「YAサービス」を知っていますか。この夏おこなわれた「橋本図書館」「相模大野図書館」のさまざまな取り組みを紹介します。

【橋本図書館】

橋本図書館では毎年、夏にYA大賞の作品募集をしています。YA大賞とは、YA世代（中高生）が創作したオリジナルの短編小説や詩を募集し、送られてきた作品を橋本図書館のスタッフと職員で審査、投票して最も得票数の多い作品を大賞に選ぶイベントです。

12回目になる今年は新たに帯部門を開設しました。帯部門と詩部門は9月2日～16日まで一般投票を行っています。橋本図書館のYAコーナー掲示板前に展示されますのでぜひご覧いただき、投票をお願いします。

大賞及び審査員賞に選ばれた人には、10月に行われる授賞式において、館長から賞状と副賞が授与されます。また受賞作品は貸出用と館内閲覧用の2冊に製本され、橋本図書館の蔵書になります。表紙や裏表紙、挿絵などはYD編集委員（YD：Youthful Daysとは橋本図書館で発行している中高生向けのライブラリーマガジンのことです。編集・発行も中高生が行います。）に描いてもらうので、世界に一つだけの本になります。

（橋本図書館窓口業務受託業者 株式会社図書館流通センター 児童サービス担当責任者 笹原悠）

【相模大野図書館】

相模大野図書館では、10代の図書館利用の活性化を図るきっかけづくりとして、8月9日（火）の午後に「ティーンズ☆フェス2016」を開催し、延べ51名の方が参加してくださいました。今回のイベントでは、相模原中等教育学校の図書委員会、相模女子大学の司書課程、桜美林大学図書館読書運動プロジェクト（以下読プロ）のみなさんが学生ならではの発想を活かして、企画段階から当日運営までを担ってくれました。

読プロの学生2名による名司会で盛り上がった「読書“怪”バトル」では、10歳から19歳までの発表者11名がおすすめの“怖い”本を3分間で紹介し、会場のみなさんの挙手により“一番怖くなった本”を決めました。発表者それぞれの本に対する熱い思いが伝わってきました。

ほかにも、図書委員の作成したおすすめ本POPに投票する「POP大賞投票コーナー」や、司書課程の学生と一緒に製作する「ブックカバー・しおり作りコーナー」など、盛りだくさんなプログラムを用意し、普段とはひと味ちがうにぎやかな図書館を体験してもらいました。今回の試みをこれからは活かしていきたいです。

（相模大野図書館主任（司書） 清野愛子）



編集後記

今年は相武台分館でも調べ学習講座を開催しました。3館実施で、子どもたちの熱に圧倒された夏を過ごしました。（Y.N.）

図書館ひろば 第14号 2016年9月5日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147（代表 山本）

Email info@toshokan.org ホームページ <http://toshokan.org/>